



SBI大学院大学

2026年度 秋学期 後期

MBA単科コース

— 募集要項 —

SBI大学院大学 概要

大学名称	: SBI大学院大学
学長	: 蟹瀬 誠一
研究科・専攻	: 経営管理研究科 アントレプレナー専攻
大学の形態	: 専門職大学院（通信教育）
修了後の学位	: 経営管理修士（専門職）
入学定員	: 本科生 年間120名（春期・秋期の各60名募集）
最低修業年限	: 2年
修了要件	: 34単位以上の単位取得
設置者	: 学校法人SBI大学

住所 : 〒106-6021 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階
電話 : 03-6229-1175
FAX : 03-6685-6100
E-mail : sbiu-contact@sbi-u.ac.jp

MBA単科コースとは

MBA本科コースの科目を1科目から選んで学べるコースです。スキルアップはもちろん、MBAの授業を実際に体験しながらMBA本科コースへの出願を検討するのにご活用ください。

eラーニングによるインタラクティブな授業展開に加え、ラーニングスタッフ（LS）が受講生のスムーズな学習をサポートいたします。

MBA単科コースの主な特徴

- ・実践的な経営の勉強をしたいが、本大学院で2年間履修する余裕が無いという方に最適です。
- ・「経営力をつけたい」「親の会社を引き継ぎたい」など、厳しい環境下にある経営者のニーズを捉え、ご自身に必要なと思われる科目を選択して履修が可能です。
- ・MBA本科コースと同じ講義を受講でき、教員、学生同士、SBIグループとの交流を通じた、ビジネスシナジーを図ることが可能です。
- ・履修後には単位を取得できます。正科生としてMBA本科コースに入学した場合には、取得済みの単位は、受講済科目として認定し、また受講料の一部が免除されます。
- ・申込人数によっては受講をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

MBA単科コース募集定員／入学資格

■募集定員

若干名（定員は科目ごとに異なります。）

■入学資格

要件Aおよび要件Bをともに満たしている者

要件A (1)・(2) いずれかに該当する者	(1) 4年制大学卒業 1. 大学を卒業した者 (2) (1)と同等の学力があると認められる 2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者 6. 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 7. 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程または専攻科を修了した者（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧 参照） 8. 旧制学校等を修了した者 9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者 10. 本学において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の者 i. 4年制大学を卒業したことの証明書が提出できない方で、日本の大学院を修了している場合 ii. その他（学歴が大学卒業未満の者等）
要件B (1)・(2) いずれかに該当する者	(1) 社会人として就業経験が3年以上ある (2) (1)と同等の経験があると入学審査にて認められる

※ 要件A 1～9／要件B (1) に該当しない方は「入学資格審査票」への記入が必要となります。

※ 講義は日本語で行われるため、日本語を母国語としない場合には日本語能力試験N1程度が目安となります。

■受講までの流れ



(1) 本学Webサイト上の「MBA単科コースのお申込み」ページからお申込みください。申込みフォームで、受講を希望する科目を選択いただきます。（開講科目一覧をご参照ください。）

(2) お申込み完了後、受講までの手続き（学費のお支払いや卒業証明書等の提出書類）に関するご案内メールをお送りしますので、ご確認のうえ、期限までにお手続きください。

(3) 受講開始の約3週間前に、受講に必要な情報を記載した資料等をご案内します。受講開始までに、学期スケジュールやeラーニングシステムの操作方法等をご確認ください。

申込手続き

■日程

	前期・通期科目	後期科目
申込締切	2026年9月10日(木)	2026年11月10日(火)
開講日	2026年10月14日(水)	2026年12月9日(水)

■学費

登録料2万円 + 1単位の科目の授業料：8万円
2単位の科目の授業料：16万円

※登録料は、他コースを含め、新規受講時のみ適用されます。

■入学資格の確認・入学資格審査について

入学資格要件（P.3参照）のうち、要件A 1～9に該当しない方および要件B(1)に該当しない方は、申込時に入学資格審査が必要となります。入学資格審査票は、該当する方のみ申込画面から遷移しますので、ご提出をお願いいたします。審査には、1週間程度お時間を頂戴しますのでご了承ください。

■申込方法

本学 Web サイト「MBA単科コースのお申込み」よりお申込みください。下のQRコードからもアクセスできます。入学試験はございませんが、入学資格要件（P.3参照）を満たしていない方は、「入学資格審査票」をご提出ください。

»『SBI大学院大学Webサイト』→『MBA単科コース』→『MBA単科コースのお申込み』
https://www.sbi-u.ac.jp/form/apply_t



■学費の振込

お申込後に学費のご案内メールをお送りいたします。ご案内メール受信後、以下の指定口座にお振込みください。

【個人でのお申込みの場合】

お申込み月の翌月15日払い。申込締切月にお申込みいただいた場合は当月15日払いとなります。

【法人でのお申込みの場合】

各月 1日～15日 までのお申込みは、申込月の翌月末のお支払いとなります。

各月16日～末日までのお申込みは、申込月の翌々月末にお支払いとなります。

ただし、申込締切日の前月16日以降にお申込みいただいた場合は、上記にかかわらず申込締切日の属する月の月末にお支払いとなります。

- ・振込手数料はご負担願います。
- ・海外から送金される際は事前に大学事務局までお問い合わせください。
- ・振込み人名義は必ず出願者名にしてください。
- ・大学事務局管理のため、振込み人名義の前に、「102」と入力してください。
- ・振込票の控えはお手元に保管してください。
- ・領収書の発行を希望される場合には、事務局（admission@mba.sbi-u.ac.jp）までご連絡ください。

銀行名 : ドコモSMTBネット銀行 (0038)
支店名 : 法人第一支店 (106)
科目 : 普通預金
口座番号 : 1002143
口座名義 : 学校法人SBI大学
フリガナ : ガク) エスビーアイダイガク

申込手続き

【領収書の発行】

発行をご希望の場合は発行方法（PDFまたは郵送）及び以下該当の情報をご連絡ください。

- ・PDFの場合：宛名
- ・郵送の場合：宛名、郵送先住所

※インターネットバンキングでお振込みの場合は、「振込明細」等の画面印刷

またはキャプチャ（スクリーンショット）を保存してください。

※ご入金後、やむを得ずキャンセルを希望される場合は、受講開始日前日までの受付に限り、登録料および授業料を返金いたします。なお、返金に伴う振込手数料は受講者の負担となります。受講開始日以降は、いかなる理由においても登録料・授業料の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■必要書類・受講前手続き

お申込後にお手続きの詳細に関するご案内メールをお送りいたします。

(1)～(5)については専用フォーム（Microsoft Forms）、(6)についてはメールでのご提出が必要となります。

- (1) 個人情報の取扱いに関する同意書
- (2) 誓約書
- (3) 秘密保持誓約書
- (4) SBI大学院グループウェアのご利用に伴う個人情報の取り扱いについて
- (5) eラーニングでの受講に必要な基本的なパソコンスキルに関する誓約
- (6) 大学の卒業証明書等、入学資格要件の確認に必要な書類

科目一覧

科目区分	授業科目の名称	レベル	単位数	担当教員
戦略・マーケティング	マーケティング（佐々木）※1	コア	2	佐々木 一人
	マーケティング（徐）※1	コア	2	徐恩之
	事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－※2	コア	2	熊沢 拓
	事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－※2	コア	2	松木 知徳
	ビジネスモデル思考	コア	1	松原 恭司郎
	経営者に学ぶベンチャー企業経営	発展	1	吉田 宣也
	MBAのためのケーススタディー	発展	1	野間口 隆郎
組織・人的資源	組織行動学（重田）※3	コア	1	重田 孝夫
	組織行動学（宮迫）※3	コア	1	宮迫 純
	Organizational Behavior（宮迫）	コア	1	宮迫 純
	経営組織論概説	コア	1	松木 知徳
	リーダーシップ特論Ⅴ（論語にみるリーダー論）	応用	1	竹内 良雄
金融・財務	ファイナンス（宮内）※4	コア	2	宮内 惇至
	ファイナンス（山岸）※4	コア	2	山岸 洋一
	財務会計（三光寺）※5	コア	1	三光寺 由実子
	財務会計（柴崎）※5	コア	1	柴崎 健
	管理会計（小林）※6	コア	1	小林 英幸
	管理会計（柴崎）※6	コア	1	柴崎 健
	金融論基礎：基礎から応用へ	コア	1	林 直嗣
	外国為替市場の基礎	コア	1	門田 真一郎
	M&A 基礎	応用	1	中村 亨
	為替政策と為替市場	応用	1	山崎 達雄
	金融・資本市場概論	応用	2	幸田 博人
	金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望	応用	1	中山 靖司
	起業会計実践	発展	2	太齋 利幸
	財政と社会保障の理論と実際	発展	1	福田 淳一
経営数理・問題解決	統計学	コア	1	沖吉 真実
	オペレーションズ・マネジメント（小林）※7	コア	2	小林 英幸
	オペレーションズ・マネジメント（野間口）※7	コア	2	野間口 隆郎
	生成AIビジネス利活用概論	コア	1	重田 孝夫・佐々木 一人・沖吉 真実
	問題解決技法	応用	2	太齋 利幸
	データサイエンス	応用	1	沖吉 真実
	ブロックチェーン技術の社会実装（基礎技術編）	応用	1	藤本 守
	ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）	応用	1	藤本 守
	ビジネスシーンにおけるAI・データ活用	応用	1	佐藤 市雄
企業倫理・経営思想	ビジネス法概論	コア	2	盧 曉斐
	近代経営者哲学研究	応用	1	細沼 藹芳
	人間学特論～日本の勤労観と地域経営思想～	発展	1	堀 隆一
グローバル・ビジネス	アジア人材マネジメント	コア	1	細沼 藹芳
	地政学：激動する世界を読み解く	コア	1	蟹瀬 誠一
	国際税務マネジメント	応用	1	梅田 浩二
	中国市場戦略	発展	1	細沼 藹芳
	グローバル・ビジネスコミュニケーション	発展	2	マイケル・サンダークリフ
	グローバル・ビジネスライティング	発展	2	マイケル・サンダークリフ

※1・※2・※3・※4・※5・※6・※7 の科目は、それぞれ同一科目のため、いずれか一方しか受講できません。

※1（マーケティング）・※3（組織行動学）・※5（財務会計）・※6（管理会計）の科目は、履修人数に大幅な偏りが発生した場合、選択されたクラス（教員）と異なるクラスに振り分けられる可能性がありますのでご了承ください。

2026年秋学期スケジュール

	秋学期 前期開講科目							月 日 章	秋学期 後期開講科目							
	10月			11月					12月				1月			
	14日	21日	28日	4日	11日	18日	25日		9日	16日	23日	6日	13日	20日		
	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章		1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	
松原恭司郎	ビジネスモデル思考								経営者に学ぶベンチャー企業経営							吉田宣也
重田孝夫	組織行動学（重田）								MBAのためのケーススタディー							野間口隆郎
宮迫純	組織行動学（宮迫）								管理会計（小林）							小林英幸
宮迫純	Organizational Behavior（宮迫）								管理会計（柴崎）							柴崎健
松木知徳	経営組織論概説								金融論基礎：基礎から応用へ							林直嗣
竹内良雄	リーダーシップ特論Ⅴ（論語にみるリーダー論）								財政と社会保障の理論と実際							福田淳一
三光寺由実子	財務会計（三光寺）								生成AIビジネス利活用概論							重田孝夫・ 佐々木一人・沖吉真実
柴崎健	財務会計（柴崎）								データサイエンス							沖吉真実
門田真一郎	外国為替市場の基礎								ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）							藤本守
中村亨	M&A基礎								ビジネスシーンにおけるAI・データ活用							佐藤市雄
山崎達雄	為替政策と為替市場								人間学特論～日本の勤労観と地域経営思想～							堀隆一
中山靖司	金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望								中国市場戦略							細沼藹芳
沖吉真実	統計学															
藤本守	ブロックチェーン技術の社会実装（基礎技術編）															
石川秀樹	ビジネス・ミクロ経済学															
細沼藹芳	近代経営者哲学研究															
細沼藹芳	アジア人材マネジメント															
蟹瀬誠一	地政学：激動する世界を読み解く															
梅田浩二	国際税務マネジメント															
佐々木一人	マーケティング（佐々木）															佐々木一人
徐恩之	マーケティング（徐）														徐恩之	
熊沢拓	事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－														熊沢拓	
松木知徳	事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－														松木知徳	
宮内惇至	ファイナンス（宮内）														宮内惇至	
山岸洋一	ファイナンス（山岸）														山岸洋一	
幸田博人	金融・資本市場概論														幸田博人	
太齋利幸	起業会計実践														太齋利幸	
小林英幸	オペレーションズ・マネジメント（小林）														小林英幸	
野間口隆郎	オペレーションズ・マネジメント（野間口）														野間口隆郎	
太齋利幸	問題解決技法														太齋利幸	
盧曉斐	ビジネス法概論														盧曉斐	
マイケル・サンダーグリーフ	グローバル・ビジネスコミュニケーション														マイケル・サンダーグリーフ	
マイケル・サンダーグリーフ	グローバル・ビジネスライティング														マイケル・サンダーグリーフ	
	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	8章	9章	10章	11章	12章	13章	14章	15章	
	14日	21日	28日	4日	11日	18日	25日	2日	9日	16日	23日		6日	13日	20日	
	10月			11月				12月					1月			
	秋学期 通期開講科目							秋学期 通期開講科目								

後期科目

経営者に学ぶベンチャー企業経営

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	発展	1



吉田 宣也
教授

<授業概要>

本科目では、ベンチャー経営において重要ないくつかのテーマ（新事業の着想、資金調達、組織開発、企業文化、製品企画・製品開発、営業、マーケティング、NPO、ソーシャルベンチャー）を、第一線のベンチャー経営者の実例を基に学んでいく。授業は担当教員(吉田)が全体監修を行い、各章は担当教員を含めそれぞれ専門分野の講師がベンチャー経営者をゲストに迎えてファシリテートし、経験に基づくベンチャー経営のエッセンスを引き出す形で行われる。経営資源が豊富な大企業とは異なるベンチャーならではの経営における創意工夫を疑似体験しつつ実践的なスキルを学ぶ。

MBAのためのケーススタディー

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	発展	1



野間口 隆郎
客員教授

<授業概要>

世界のグローバルスタンダードなMBAはケースメソッドによる学修によって、その実践的な知的スキルを磨いてはじめてMBAとしての自己の価値の証明ができます。現実のビジネスで直面する課題は、戦略、マーケティング、組織、オペレーション、ファイナンスの理論的な分野別に区分されていることはありません。それらを総合的に使いこなして解決策を導きだします。そのための知的スキルをケースメソッドによる学修で磨いていきます。それは学修というよりは訓練に近いと言えるでしょう。

管理会計（小林）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1



小林 英幸
教授

<授業概要>

この授業では、管理会計が企業の内部に提供する情報と、企業で働く人々に与える影響に着眼して、管理会計システムの設計や、その運用のあるべき姿を考えていきます。

管理会計の元々の目的は、会計データを初めとして、企業の経営に役立つデータを、企業の内部に提供することです。つまり「情報システム」としての役割です。企業の現場に存在するのは会計データだけでは勿論ありません。仕事の質を高めるための仕組みや、働く人たちの心理・感情というものも、企業の経営に影響を及ぼすものです。

この授業では、会計データを中心とした情報システムとしての役割と、それらが企業で働く人々に与える影響、すなわち「影響システム」としての役割に着眼して進めていきます。影響システムとしては特に、人は測定されることによって行動を変えるものだという点に注目して、その理由や適切な対処方法などを掘り下げていくことにします。

後期科目

管理会計（柴崎）

科目区分
金融・財務レベル
コア単位数
1柴崎 健
教授

<授業概要>

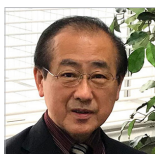
この授業では、管理会計が企業の内部に提供する情報と、企業で働く人々に与える影響に着眼して、管理会計システムの設計や、その運用のあるべき姿を考えていきます。

管理会計の元々の目的は、会計データを初めとして、企業の経営に役立つデータを、企業の内部に提供することです。つまり「情報システム」としての役割です。企業の現場に存在するのは会計データだけでは勿論ありません。仕事の質を高めるための仕組みや、働く人たちの心理・感情というものも、企業の経営に影響を及ぼすものです。

この授業では、会計データを中心とした情報システムとしての役割と、それらが企業で働く人々に与える影響、すなわち「影響システム」としての役割に着眼して進めていきます。影響システムとしては特に、人は測定されることによって行動を変えるものだという点に注目して、その理由や適切な対処方法などを掘り下げていくことにします。

なお、本講座は、対面授業はありません。

金融論基礎：基礎から応用へ

科目区分
金融・財務レベル
コア単位数
1林 直嗣
客員教授

<授業概要>

金融論は、家計の資産選択・ポートフォリオ理論、資産運用論、企業のファイナンス、ガバナンス、公的金融、マクロ金融分析、金融市場論、証券市場論、株式市場論、為替市場論、国際金融論、金融政策など金融関係の諸科目の最も基本となる基礎科目です。金融関連諸科目を履修する場合は、先ずこの金融論基礎を履修することをお勧めします。ミクロとマクロの経済理論や経済政策論を学習してから、金融論をしっかりとマスターして、その上で金融関係の専門諸科目を勉強すると、基礎から応用へと理論的思考力や実践的分析力、経営判断力が着実に身につきます。

財政と社会保障の理論と実際

科目区分
金融・財務レベル
発展単位数
1福田 淳一
客員教授

<授業概要>

財政の標準的な理論に沿って、その役割について学ぶとともに、実際の場面の財政問題について考察する。次に、国と地方の財政の仕組みなどを学ぶ。最後に、現在、財政の最大の分野になっている社会保障について、その役割、社会保障各分野の意義、制度、問題点などについて学ぶ。

生成AIビジネス利活用概論

科目区分
経営数理・問題解決レベル
コア単位数
1重田 孝夫
教授

<授業概要>

今日、生成AIのビジネスシーンでの利活用は、顧客・市場・社会への価値創造活動として必須要件になっています。一方で、今後の事業経営の成否を決定しかねない重要な鍵であるにもかかわらず、日々進化を遂げる生成AIにどのように向き合い、認識し、どのように利活用を図って事業活動を推進して行くべきかについては、まだまだ手探り状況にあるのも事実です。

本講義は、進化し続ける生成AIのビジネスシーンでの利活用にフォーカスし、生成AIがもたらす変化や動向を踏まえながら、ビジネス利活用における本質的意義は何か。また、ユニコーン企業、ゼブラ企業、ガゼル企業等、それぞれの企業体において、アントレプレナー・イントレプレナーとして身につけておくべき基本要件である生成AIの実務における利活用能力に関して、「役立つ、使う・使える」をキーワードに、その習得を目指します。

※2026年春学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

後期科目

データサイエンス

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1



沖吉 真実
講師

<授業概要>

本講義では、Pythonを利用したデータ解析手法を学び、あらゆるビジネスシーンでデータを活用する力を養います。本講義ではChat GPTを利用して、プログラミングへ応用することで、プログラミングを苦手とする方でもより簡単にデータを扱うことができることを目的としています。データ解析の一連の流れ（手順）を理解し、実際にPythonを実装させ、Try and Error を繰り返すことで、実践的なスキルの向上を目指します。

ビジネスシーンにおけるAI・データ活用

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1



佐藤 市雄
客員教授

<授業概要>

本講義では、ビジネスシーンにおけるAI・データ活用の実践的な手法について学びます。講師は、SBIホールディングス AI・デジタル戦略推進部 データサイエンスグループの実務メンバーが担当し、データの加工から分析、具体的な活用方法までを体系的に解説します。講義では、不正検知、ネットワーク分析、需要予測、経済指標分析、合成データといった多様な実事例を通じて、データサイエンスのビジネス応用に関する実践的な理解を深めることを目指します。

【注意】

- ・ ChatGPT等に代表されるLLM（大規模言語モデル）ベースの生成AIは主要な対象とはしませんが、関連する概念や技術動向については、必要に応じて位置づけを説明します。
- ・ 授業内容や課題はPythonプログラミングの基礎的な知識を前提とします。受講前に必要なスキルを「事前学修」や「受講上の留意点」の項目に示しましたので、履修を検討される方は必ず事前に確認してください。

ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1



藤本 守
客員教授

<授業概要>

ブロックチェーン技術は金融サービス領域のみならず、産業分野においても大きな変化をもたらす可能性を持った技術です。これまでは暗号資産への応用が最も進展し社会的にも認知されていますが、それ以外の様々な分野への応用が進んでいます。ブロックチェーンブームに乗って多くのプロジェクトが生まれた一方で、社会実装の手前で足踏みをしている事例、社会実装まで進んだものの継続出来なかった事例も多く見られます。それは暗号資産の分野においても同様です。ブロックチェーン技術の社会実装は発展途上であり、これが正解というセオリーがあるわけではありません。本講義ではブロックチェーン技術の社会実装はどのように進められているのか、応用分野ごとに事例を用いながら解説します。なお、本講義ではブロックチェーン技術に関する専門用語等が多く出て来ますので「ブロックチェーン技術の社会実装（基礎技術編）」を受講されていることが望ましいです。

※2026年春学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

後期科目

人間学特論～日本の勤労観と地域経営思想～

科目区分	レベル	単位数
企業倫理・経営思想	発展	1



堀 隆一
講師

<授業概要>

人間の徳性を養う学問を「人間学」という。倫理・道徳とも通ずるところがある。戦後の教育において義務教育での倫理・道徳は軽視され、形式的なものになってしまい、倫理・道徳心のない人々が大量に社会に出てしまう事態に陥ってしまった。これは、一般市民のみならず、政治家、経営者、宗教関係者、公務員、教員、法曹関係者、医学関係者等、所謂エスタブリッシュメントと呼ばれる人々までがその惨状の渦中にある。違法だと分かっている手も染める汚職、刑事罰のみならず株主代表訴訟で財産没収企業不正、職を失う様々な不祥事が毎日のように報じられている。

人間学が欠如した人々の増加は、かつて工場運営を担当してきた筆者にとって非常に悩ましい問題であり、それが高じて、「働き方改革」が叫ばれるほどの社会的問題になってきた。本講義ではそこにメスを入れる。

二宮尊徳は「経済なき道徳は寝言であり、道徳なき経済は犯罪である」と述べ、澁澤栄一は「経済道徳一致」を唱えた。資本主義の発展と道徳・倫理は並立しなければ人類は幸福になれない。

幸い、日本は伊弉諾・伊弉冉の神代から勤労の精神が培われ、天照大神によって神道が生まれた。そこに仏教と儒教が加わり、聖徳太子の十七条の憲法によって日本の道徳基盤が成立した。

江戸時代、石田梅岩、上杉鷹山、二宮尊徳を始めとする指導者によって自立性と相互扶助が唱えられ、日本は勤勉革命とよばれる世界に類を見ない新しい価値観を築き上げた。ヨーロッパの産業革命と並び称されるものであった。

明治維新後、サミュエル・スマイルズの「自助論」が日本人に大きな影響を与え、澁澤栄一らによって殖産興業が進められた。日本は経済的にも、産業的にも、軍事的にも大いに発展したが、そこには大きな矛盾点を内包しており、第二次大戦の敗戦に繋がった。敗戦後、アメリカの合理主義が日本に導入され、それを咀嚼した日本は再び発展を遂げた。しかし、利益一辺倒に陥った日本は、二宮尊徳の「道徳なき経済は犯罪である」の状態に陥ると同時に経済発展も滞ってしまった。日本人は今や、人間としての徳性をも失いつつある。日本人の品性と資質、本来の美しさを、21世紀に呼び戻したい。古き日本のみならず東西の先賢を学び、新しい日本をリードする人材を養成することに貢献したい。本特論には、そのような思いも込めている。それは、単なる懐古主義ではなく、温故知新によるイノベーションに他ならない。

人間学は、宗教、哲学、倫理学等を包含する幅広い学問であるが、本特論では特に古代から現代に至る日本の勤労観と地域経営思想、働き方に光をあてる。

中国市場戦略

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	1



細沼 諒芳
教授

<授業概要>

日本企業が中国市場に進出するとき、一つの強みは、日本ブランドが持つ力です。具体的に言えば、中国消費者にとって、日本製品は「信頼できる」「丁寧に作られている」「安心で使える」などのイメージを持っています。また、日本製品を買うことは「自分へのご褒美」とも言えます。この強みを最大限に生かすために、中国市場の特徴、消費者の行動などを理解する必要があります。

中国市場といえばまず、沿岸部の比較的富裕層が多い地域への販売・サービスの提供に注目が集まります。しかし、あまり注目されていなかった地方の二級都市、三級都市も、最近は購買力が向上し、大きな消費市場となりつつあります。こうした地域でのエリア戦略、販売戦略、ネットマーケティング戦略などが今後は重要となります。

具体的に、本授業は以下3つの内容によって構成されます。

- 1) 中国市場の概況と消費文化、消費者ライフスタイルの変化（1～2章）
- 2) 「何を」「どこで」「誰に」「どうやって」売るかについて具体的に中国での市場戦略を学ぶ（3～5章）
- 3) 中国ビジネスを成功に導くヒント（6～7章）

システム要件

■ハードウェア要件

- ・CPU：4コア2.5Ghz以上
- ・メモリ：16GB以上を推奨
- ・ハードディスク：

【WindowsPCの場合】

- ・Teamsアプリのインストール時：3GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- ・Microsoft365のインストール時：4GB の使用可能なディスク領域が必要です。

【Mac PCの場合】

- ・Teamsアプリのインストール時：1.5 GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- ・Microsoft365のインストール時：10 GB の使用可能なディスク領域が必要です。

■ソフトウェア要件

【WindowsPCの場合】

- ・OS：Windows11 [64ビット版]
- ・Webブラウザ：Microsoft Edge、Google Chrome
- ・その他：Adobe Acrobat Reader（最新版）

【MAC PCの場合】

- ・OS：macOS v26.4 Tahoe、macOS v15.7 Sequoia、macOS v14.3.1 Sonoma、macOS v13.5.1 Ventura
- ・Webブラウザ：Safari、Google Chrome
- ・その他：Adobe Acrobat Reader（最新版）

※Chrome OS（Chromebook）には対応しておりません。

■モバイル端末でのご受講

- ・OS：iOS 26、18、iPadOS 26.2、18、Android 16、15、14、13
- ・Webブラウザ：
 - iOSをご利用の場合：Safari
 - Androidをご利用の場合：Google Chrome（標準搭載）

※iPad mini及びiPadProは動作保証対象外です。

■ネットワーク要件

- ・下り:2Mbps以上のインターネット接続
- ・上り:256kbps以上のインターネット接続

※スマートフォンの場合はLTE/4G以上、WiFi環境を推奨

【Web会議システムで授業に参加される場合】

- ・下り:1.8Mbps以上のインターネット接続
- ・上り:2.6Mbps以上のインターネット接続

システム要件

■USBカメラ、ヘッドセット要件

【Web会議システムで授業に参加される場合】

- ・USB2.0WebカメラまたはPC内蔵のWebカメラ
- ・ヘッドセットまたはヘッドフォン・イヤフォン及びマイク

※ 上記パソコンのハードウェア、ソフトウェア要件に適合するもの

■その他

- ・大学院アカウントへのログイン時には二要素認証が必要です。ご自身のスマートフォン等に「Microsoft Authenticator」アプリをインストールし、アカウント登録を行っていただく必要があります。
- ・大学事務局との連絡の為、メールを送受信できる環境が必要です。
- ・レポート課題等への対応のためMicrosoft Excel、Microsoft Word、Microsoft PowerPointが必要です。（在学中に限り、大学から提供されたライセンスでご利用いただけます。）

2026年9月現在（変更となる場合もございます。）

■注意事項

- ・ブラウザのJavaScript、Cookie、SSL(TLS)の設定が有効である必要があります。
- ・セキュリティソフトウェアまたは、アンチウイルスソフトウェアのセキュリティ機能によって当サービスの機能が正しく利用出来ない場合があります。
- ・海外でご利用の場合は、国毎のネットワーク通信やインフラ事情により受講ができない場合がございます。事前にご確認のうえご利用ください。
- ・本サービスは、Web通信が可能な環境でご利用になれますが、社内LANのファイヤーウォールやプロキシサーバーなどにより通信制限されている場合は、本学コンテンツを正常にご受講いただけない場合がございます。この場合は、本サービスで利用しているプラットフォーム（学習管理システムサーバーおよび映像配信サーバー）についてホワイトリストに追加するなど、ネットワーク管理者様とご調整いただく必要があります。

試聴試験用の動画をSBI大学院大学Webサイトにて公開しております。

» 試聴試験用の動画



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

Memo

Memo

お問い合わせ

SBI大学院大学事務局 平日9:00～18:00

〒106-6021

東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階

電話 : 03-6229-1175 FAX : 03-6685-6100

Email : sbiu-contact@sbi-u.ac.jp

» SBI大学院大学WEBサイト
<https://www.sbi-u.ac.jp/>

